

## 「スポーツ」と「観光」の融合で、北海道を元気に！

～第1回北海道スポーツ観光連絡会議開催～

去る6月25日（金）にルネッサンス サッポロ ホテルにて「第1回 北海道スポーツ観光連絡会議」を開催しました。すでに観光庁では5月に「スポーツ・ツーリズム推進連絡会議」を立ち上げており、それに続いて地方では北海道が全国に先駆けての開催となりました。（なお、同日観光庁において、第2回目のスポーツ・ツーリズム推進連絡会議が開催されています）

連絡会議にはプロスポーツ球団、各スポーツ競技団体、アスリート、観光関係者、旅行業界、経済団体、教育機関、行政、地方自治体、民間企業（観光関係、スポーツ関係）、メディアなど、札幌市内をはじめ道内各地より、予定の100名を上回る約130名の方々にお越しいただき、「スポーツ」と「観光」の融合という新たな取り組みに対する関心の高さが伺えました。



▲熱気溢れる満席の会場



▲溝畑観光庁長官からの熱いビデオメッセージ

まず冒頭に観光庁溝畑長官からのビデオメッセージを上映。本連絡会議の開催と今後の取り組みについて、激励をいただきました。

続いて、北海道運輸局 尾澤局長とコンサドーレ札幌運営会社である株式会社北海道フットボールクラブ 矢萩社長よりそれぞれ本連絡会議によせて挨拶をいただきました。尾澤局長は「スポーツ資源を最大限に活かし、今後の北海道観光振興の起爆剤にしたい」と力強くあいさつ。矢萩社長は「北海道はスポーツマインドの高い地域。皆さんと共に力を尽くしたい」と熱く語られました。



▲尾澤北海道運輸局長 挨拶



▲株式会社北海道フットボールクラブ矢萩社長 挨拶

その後、長野オリンピック ラージヒル・ラージヒル団体 金メダリストである船木和喜さんをお招きして「世界のスポーツと観光」をテーマに、司会者との対話形式でスペシャル・トークを展開。なんと、トーク早々にあの長野オリンピックで獲得した金メダルを披露いただき、出席者全員が直接金メダルに触れられるというサプライズがありました。



▲出席者を興奮させた、金メダル！



▲長野オリンピック金メダリスト 船木 和喜氏

トークでは、北海道は海外と比較し選手にも観客にも恵まれた環境であること、海外の大会は、サーカスや他の競技との合同開催など観客を楽しませる仕掛けがされていることなど、世界を転戦している経験から貴重なおはなしをいただきました。また最後に「いつでも力になるので、私たち選手を使ってほしい。一緒に頑張りましょう」と場内に熱く呼びかけ、大きな拍手がわき起こりました。

続いて事務局を代表し、北海道運輸局小林企画観光部長より、これまでの経緯や今後の方針について説明があり、メールによる出席者全員での情報共有、調査分析の実施、年2回の連絡会議開催が提案されました。今後は、観光庁が主催する「スポーツ・ツーリズム推進連絡会議」に関する情報もこのネットワークを活用して展開していきます。



▲小林企画観光部長による取組説明

会議の最後はネットワーキングと題して、出席者同士が名刺交換を通じ活発な情報交換を行いました。効果はすぐに現れ、プロのアスリートと旅行会社による、選手との交流を盛り込んだ旅行商品開発の動きが起きています。今までつながりが無かった各関係者が「スポーツ」と「観光」の融合により、ぐっと距離が縮まった、そんな印象的な機会となりました。



▲関係者による活発なネットワーキング（名刺交換会）

会議の締めくくりには、女子スキージャンプのパイオニアである、山田いずみさんが登壇、本会議にエールを送り閉会となりました。



▲女子スキージャンプのパイオニア：山田 いくみ氏

今後、北海道運輸局では、この連絡会議を活用して「スポーツ」と「観光」を切り口とした地域振興を進めていきます。

なお、この「北海道スポーツ観光連絡会」は随時登録を受け付けております。登録をご希望の方は、別紙登録票をご記入のうえ下記まで送付してください。

送付先 北海道運輸局企画観光部 水口・小俣

[mizuguchi-t52es@hkt.mlit.go.jp](mailto:mizuguchi-t52es@hkt.mlit.go.jp)

[komata-m52nz@hkt.mlit.go.jp](mailto:komata-m52nz@hkt.mlit.go.jp)